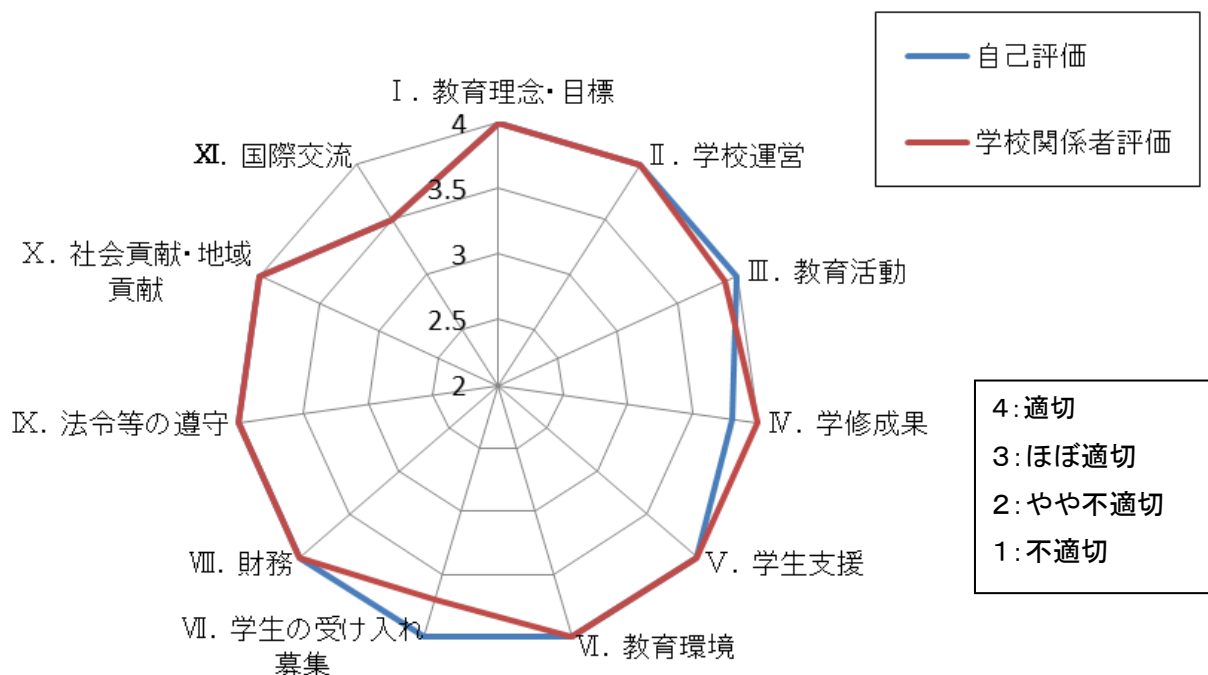


平成 27 年度 看護師養成所評価結果

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校

| 評価カテゴリー | 評価内容の概要 |
|----------------|--|
| I. 教育理念・目標 | 理念・目的・育成人材像が定められているか、学校における職業教育の特色、将来構想が明確か、また、学生・保護者などへ周知されているかなどについての評価（小項目 5 項目） |
| II. 学校運営 | 目的、事業計画に沿った運営方針の策定、運営組織や意思決定機能が規則等において明確か、また、人事給与に関する制度の整備、コンプライアンス体制、情報公開などが適正におこなわれているかなどについての評価（小項目 8 項目） |
| III. 教育活動 | 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等の策定、職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発、カリキュラム評価体制、指導体制、教員の確保などについての評価（小項目 16 項目） |
| IV. 学修成果 | 就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減、卒業生・在校生の社会的な活躍および評価の把握などについての評価（小項目 5 項目） |
| V. 学生支援 | 進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制、経済的支援体制、健康管理、課外活動に対する支援、生活環境の支援、保護者との連携などについての評価（小項目 10 項目） |
| VI. 教育環境 | 施設・設備についての整備、学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制の整備、防災に対する整備についての評価（小項目 3 項目） |
| VII. 学生の受け入れ募集 | 学生募集活動の適切な実施および成果について、学納金についての評価（小項目 3 項目） |
| VIII. 財務 | 中・長期的な財政基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開の体制整備についての評価（小項目 4 項目） |
| IX. 法令等の遵守 | 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営、個人情報保護に対する対策、自己評価の実施と情報公開などについての評価（小項目 5 項目） |
| X. 社会貢献・地域貢献 | 学校の教育自然や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動の奨励・支持、地域に対する公開講座、教育訓練の受託等についての評価（小項目 3 項目） |
| XI. 国際交流 | 留学生の受け入れ・派遣、学習成果が国内外で評価される取り組みについての評価。（但し、必要性に応じて）（小項目 4 項目） |



平成27年度 養成所評価

【 学校関係者評価総評 】

国立病院機構および母体病院の理念に基づき、きめ細やかな教育が実施されている。毎年の自己点検・評価をもとに、「重点事項」を取り上げ、課題の解決に向けて具体的な教育方略を用いて、改善のために努力している。教授過程の結果として、国家試験合格率、就職率ともに高く、社会に貢献している。今後は、授業評価の評価項目の見直し、シラバスの提示方法の検討および入学応募生の増加に向けた対応が急務である。

| | 自己評価 | 学校関係者評価 |
|----------------|---|--|
| I. 教育理念・目標 | 4.0 国立病院機構の理念のもと、看護師に必要な知識・技術・態度を教授し、国立病院機構及び社会に貢献しうる有能な看護実践者を育成することを掲げ、専門分野の特徴も明記している。 | 4.0 教育理念は国立病院機構の理念が反映されたものであり、教育目標との一貫性があり、また、設定意図が明確に示され、実現可能なものとなっている。 |
| II. 学校運営 | 4.0 目的・事業計画に沿った運営方針の策定、人事・給与に関する制度等について国立病院機構及び母体病院当校の規程が整備されるなど適切に運営されている。 | 4.0 目的・事業計画に沿った運営方針の策定、人事・給与に関する制度等について国立病院機構及び母体病院当校の規程が整備されるなど適切に運営されている。 |
| III. 教育活動 | 4.0 職業実践専門課程の認定を受けたこともあり、実践的なカリキュラムの編成、また、編成委員会、実習施設などと連携しカリキュラムの見直しをするなど、職業教育を体系的におこなっている。また、機構内関東信越グループ内の他校による学校評価や外部評価を取り入れている。 | 3.9 変化する社会、医療のニーズに即した教育内容の検討、工夫を重ねており高く評価できる。また、機構内関東信越グループ内の他校による相互評価や外部評価を取り入れていることは評価できる。課題として、学生の主体的行動につながるようなシラバスの提示方法の検討、授業評価の見直しがされるとよい。 |
| IV. 学修成果 | 3.8 就職や国家試験対策などの資格習得率の向上に向けた取り組みをおこなっている。卒業生の卒後の状況については機構病院では情報交換をおこなっている。しかし、臨床と学校の情報交換から、基礎教育活動の改善までに至っていない。 | 4.0 国家試験は、全国平均を上回る高い合格率を維持し、また、就職率においても看護師として高い合格率を維持しており、社会に貢献している。卒業生の動向調査は個人情報問題もあり困難であるが「カミングホーム」などにより把握できるとよい。 |
| V. 学生支援 | 4.0 進路指導、学生相談などの支援、健康管理、奨学金および教育給付金などの経済支援を積極的におこなっている。 | 4.0 進路指導、学生相談などの支援、健康管理、奨学金および教育給付金などの経済支援を積極的におこなっている。 |
| VI. 教育環境 | 4.0 施設設備の整備、教材教具および図書などについては計画的に購入し、学習環境を整えている。また、防災訓練を実施するなど防災に対する体制は整備されている。 | 4.0 施設設備の整備、教材教具および図書などについては計画的に購入し、学習環境を整えている。また、防災訓練を実施するなど防災に対する体制は整備されている。 |
| VII. 学生の受け入れ募集 | 4.0 学校説明会の実施、業者企画の説明会への参加、高校内ガイダンスなどにより積極的に学生募集をおこなっている。学納金については、学校生活にかかる金額を算出し、必要な金額を徴収している。 | 3.7 年々入試の応募者が激減していることは、今後取り組むべき課題である。学校の魅力の推進と広報、また、社会人枠、推薦入試枠等のバランスなどの検討が急務である。 |
| VIII. 財務 | 4.0 母体病院および機構本部を基盤としている。また、病院と連絡調整し、予算・収支計画、会計監査、情報公開などをおこなっている。 | 4.0 母体病院および機構本部を基盤としている。また、病院と連絡調整し、予算・収支計画、会計監査、情報公開などをおこなっている。 |
| IX. 法令等の遵守 | 4.0 指定規則を遵守し運営している。毎年度の報告等において、改正等の指摘は受けていない。また、学校の自己評価をおこない、ホームページ上で公開している。 | 4.0 指定規則を遵守して運営している。また、教員全体で自己点検・自己評価に取り組み組織的な評価活動をしていることは高く評価できる。また、昨年度の課題であった中間評価が実施され、改善につなげられている。 |
| X. 社会貢献・地域貢献 | 4.0 学校の施設は地域での活動に対し貸し出しをしたり、中学生などの職業体験などを積極的に受け入れている。また、高校生、社会人対象の公開講座等をおこない地域貢献している。 | 4.0 公開講座や職業体験の受け入れ、職業講話など中・高校生を対象とした受け入れを積極的に受け入れ地域貢献している。 |
| XI. 国際交流 | 3.5 実際に留学生は受け入れていないが、適切な手続きがおこなえるよう体制を整えている。学生の学習成果を発表する機会が少ないため、学生フォーラム以外の学会等でも機会を設ける。 | 3.5 現在、留学生の受け入れはしていない。受け入れについては検討を要する。また、専門学校において、学生の学習成果を国内外で評価される取り組みの必要性についても検討を要する。 |

学校関係者評価委員会 (第1回:平成28年7月28日 看護学校研究室にて開催)

| | | | | | |
|-----|-------------|--------|-----|------|-------|
| 委員長 | 横浜医療センター副院長 | 鈴木 宏昌 | 事務局 | 学校長 | 平原 史樹 |
| 委員 | 箱根病院長 | 小森 哲夫 | | 副学校長 | 萩原 一美 |
| | 相模原病院看護部長 | 大草 由美子 | | 事務長 | 新井 秀一 |
| | 国際医療福祉大学 | | | 教育主事 | 山中 清美 |
| | 小田原保健医療学部教授 | 吉村 恵美子 | | 教育主事 | 渡邊 真弓 |
| | 横浜市立大正中学校校長 | 熊谷 守浩 | | 事務主任 | 佐野 浩士 |